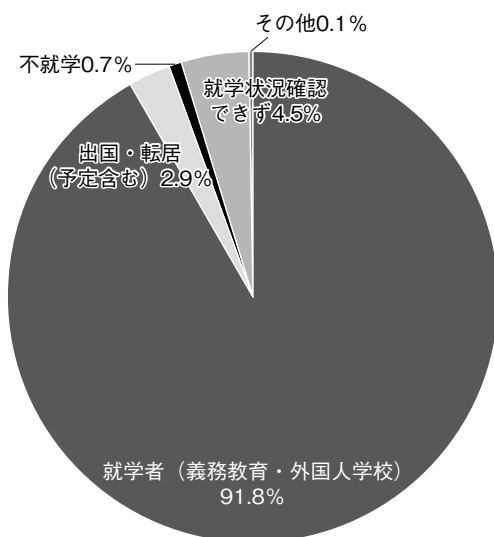


外国籍の子どもの就学状況



文部科学省の調査によると、学齢相当の外国籍の子どもの数は 16 万 3,358 人（住民基本台帳上、2024 年 5 月 1 日時点）で、そのうち 1,097 人（0.7%）の子どもが義務教育諸学校へ通わない不就学の状態であった。就学状況が確認できない子どもまで含めると、不就学の可能性がある子どもは 8,432 名で、全体の 5%超に上る。OECD 各国と比較して、日本は外国籍の子どもの不就学率が高いことが知られている。外国にルーツがある子どもは年々増加傾向にあり、国はすべての外国籍の子どもの教育機会が確保されるよう就学案内の通知等を徹底して進めたいとしている。

文部科学省「令和 6 年度 外国人の子供の就学状況等調査結果」より